

# 第57回全国母子生活支援施設研究大会 開催要綱

## 大会テーマ

### これからの母子生活支援施設のあり方を考える

#### 1 趣 旨

今日、母子世帯や子どもを取り巻く社会環境の大きな変化により、支援を必要とする世帯は増加していくことが見込まれる一方で、その支援にあたる母子生活支援施設の現況は、施設数や利用世帯数が減少傾向にあり、稼働施設の約半数が暫定定員施設となっています。この状況は、行政に対し母子生活支援施設に対する理解を要請するだけでなく、まず母子生活支援施設に携わる私たち自身が、改めて母子世帯のニーズに立ち返り、社会環境の変化に見合った母子生活支援施設のあり方を考える必要があることを示唆しています。

全母協では今年度、今後の母子生活支援施設の役割、支援を明らかにすることを目的に「私たちのめざす母子生活支援施設（仮称）」（以下、ビジョン）を策定する特別委員会を立ち上げ、2年をかけて検討します。国が策定した母子生活支援施設運営指針（平成23年度）、ならびにこのビジョンが今後の母子生活支援施設の運営と施設における支援の方向を示すものとなります。

本研究大会においては、母子世帯のニーズ、母子生活支援施設のあり方について改めて研究協議し、一層の母と子への支援の充実、職員の資質向上をはかることをめざします。

#### 2 主 催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会・全国母子生活支援施設協議会  
社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会・福岡県母子生活支援施設協議会

#### 3 後 援（予定）

厚生労働省、福岡県  
全国母子寡婦福祉団体協議会、全国母子自立支援員連絡協議会

#### 4 期 日

平成25年10月3日（木）～4日（金）

#### 5 会 場

「ヒルトン福岡シーホーク」  
〒810-8650 福岡市中央区地行浜 2-2-3 TEL:092-844-8111 FAX:092-844-7887  
【アクセス】《新幹線の場合》JR博多駅隣「博多バスターミナル」からバス約20分。  
《タクシー》JR博多駅から約20分。  
《航空機の場合》福岡空港から空港～博多駅（地下鉄5分）、「博多バスターミナル」からバス約20分。

※周辺地図、交通機関等詳細は、お申込み受理後、参加券等とあわせてお送りします。

## 6 参加対象（定員 250 名）

- (1) 母子生活支援施設の役職員（法人の役員および施設長、職員）
- (2) 都道府県・指定都市・中核市・市区町村行政の母子・児童福祉関係者
- (3) 社会福祉協議会の母子・児童福祉関係者
- (4) 児童養護施設等の社会的養護を担う児童福祉施設の役職員、里親及び関係者
- (5) 母子寡婦福祉団体関係者、民生委員児童委員、母子自立支援員 等

7 参加費 17,000 円

8 交流会費 8,000 円（宿泊・昼食代等は別途申込書をご参照ください。）

## 9 日 程

	12:00	13:00	13:30	14:30	15:15	15:30	17:30	18:00	20:00
3日 (木)		受付	開会式	行政説明	基調報告	休憩	シンポジウム	休憩	交流会
4日 (金)	3分科会での自由研究発表	昼食休憩	資生堂海外 研修報告	調査報告	記念講演	大会総括 閉会式			
	9:00	12:00	12:40	13:45	15:15	15:30			

### 【第1日・10月3日（木）】

13:00～13:30 開会式・永年勤続表彰

13:30～14:30 行政説明 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課

14:30～15:15 基調報告 全国母子生活支援施設協議会 会長 大塩 孝江

15:15～15:30 休憩

15:30～17:30 シンポジウム

テーマ 「私たちのめざす母子生活支援施設」とは

#### ◆シンポジスト

山崎 美貴子 氏（神奈川県立保健福祉大学 顧問・前学長）

日隈 利香 氏（鹿児島大学医学部保健学科臨床看護学講座 助教）

大塩 孝江 氏（倉明園 施設長／全国母子生活支援施設協議会 会長）

#### ◆コーディネーター

大澤 正男 （全国母子生活支援施設協議会 副会長）

17:30～18:00 休憩・チェックイン

18:00～20:00 交流会（希望者のみ、ホテル内会場）

**【第2日・10月4日（金）】**

**9:00～12:00 テーマ別分科会での自由研究発表**

テーマ別の3つの分科会で、全国の母子生活支援施設から募集した自由研究を各3本程度発表し、フロアとの意見交換や助言者からのコメントをいただきます。参加者は、分科会を自由に移動し、関心のある発表をきくことができます。

**第1分科会 制度施策・支援システムの構築**

助言者 吉開 理恵 氏（福岡県久留米児童相談所 所長）

芹澤 出 （全国母子生活支援施設協議会 制度施策委員長/京都府・野菊荘）

母と子の安全安心・安定な生活の確保と自立支援に向けて、充実が急がれる制度・支援システム、支援ネットワーク、地域支援の課題などについて。

**第2分科会 重い課題のある母と子への支援**

助言者 日隈 利香 氏（鹿児島大学医学部保健学科臨床看護学講座 助教）

青戸 和喜 （全国母子生活支援施設協議会 研修広報委員長

/愛知県・岡崎市いちょうの家）

DV被害や児童虐待を受けた母と子、障害のある母と子など、重い課題のある利用者への支援をめぐって、日常生活場面での支援や権利擁護、母と子の関係調整、医療機関等他機関との連携などについて。

**第3分科会 自由テーマ**

助言者 平田 ルリ子 氏（全国乳児福祉協議会 副会長）

廣瀬 みどり （全国母子生活支援施設協議会 総務委員長/大阪府・東さくら園）

発表テーマは自由です。第1・2分科会と重ならないテーマ設定、たとえば第三者評価の受審や自己評価の取り組み、職場研修システムの開発、災害対応・リスク管理などについて。

12:00～12:40 昼食休憩

12:40～13:10 第38回（平成24年度）資生堂児童福祉海外研修報告会

13:10～13:35 平成24年度全国母子生活支援施設実態調査報告

13:35～13:45 休憩

13:45～15:15 記念講演

「集団の中における親子関係」（仮題）

◆講師 神田 岳委 氏（九州自然動物公園「アフリカンサファリ」 獣医師）

15:15～15:20 大会アピール

15:20～15:30 閉会式

## 10 参加申込みおよび宿泊・交流会申込みについて

- (1) 参加申込みおよび宿泊・交流会の申込みは、別添の申込書に必要事項を記入のうえ、名鉄観光サービス株式会社 福岡支店まで、FAXまたは郵送にてお申し込みください。お申し込み締切は9月6日（金）※必着とします。ただし、定員に達し次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。
- (2) 大会参加申込者には、参加申込受付後9月下旬をめどに、大会参加券・交流会参加券・昼食券等を郵送にてお送りします。大会当日に必ずお持ちください。
- (3) 参加費用入金後のキャンセルにつきましては、下記のとおりです。
- ①参加費  
原則として参加費の返金はできかねますので、ご了承ください。なお、大会資料の送付で代えさせていただきます。
- ②宿泊・交流会・昼食  
別添申込書に記載の取消料をいただきますので、あらかじめご了承ください。

## 11 個人情報の取り扱いについて

- (1) 個人情報の利用について  
参加申込書に記載された個人情報については、申込受付等委託事業者（名鉄観光サービス株式会社 福岡支店）と事務局（全社協児童福祉部）において共同利用します。同情報は、参加申込受付・参加管理・参加にあたり希望される宿泊等サービス提供等、研究大会運営に必要な範囲内で使用します。
- (2) 参加者名簿の作成について  
研究大会参加者同士の交流を図るため、参加申込書に記載された情報をもとに、参加者名簿（都道府県名・所属施設名・役職名・参加者氏名）を作成し、参加者に配布します。

## 12 お問い合わせ先

### 【参加・宿泊・交流会・昼食の申込みおよびお問い合わせ先】

**名鉄観光サービス株式会社 福岡支店（担当：櫻木、田中）**

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-2-5 紙与博多ビル

TEL: 092-451-6531 FAX: 092-432-3600

### 【大会の内容・運営に関するお問い合わせ先】

**全国社会福祉協議会・全国母子生活支援施設協議会事務局（担当：城（じょう））**

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL: 03-3581-6503 FAX: 03-3581-6509

E-Mail: boshi@shakyo.or.jp